

茨城県涸沼・千葉県銚子 探鳥会に参加して

浅和 文子

Iさんに誘われて久々に泊りの探鳥会に参加。車が出られるよう前日に雪掃きをして準備。

2月8日6時前に家を出る。カルチャーパークに7時集合。参加者11名。2台の車に分乗し49号線～常磐～北関東自動車道にて涸沼へ。

涸沼はしじみ漁業やラムサール条約登録湿地として知られている。10時頃いこいの村涸沼(宿泊ホテル)に到着。

近くの涸沼水鳥湿地センター銚田市(観察棟)にて観察。

昼はホテルにて各自好きなものを食べる。何人かはご当地のしじみラーメンを注文。

午後はホテル周辺を散策。

小さな貯水池にマガモとカルガモの交雑種のマルガモがおり特徴を教えて頂く。

涸沼には、スズガモの群れが潜ったり浮いたり、波間に見え隠れしている。杭にはミサゴ、上空にはトビが飛翔している。移動中の車窓より二羽のコウノトリ発見? 一号車の方々も確認。コウノトリである。

ラムサール条約登録湿地涸沼水鳥湿地センター見学。そこで教えて頂いた葦原へ向かう。途中の田んぼにタゲリなどがいて、車から降りて観察。チョウゲンボウも現れる。

既にたくさんの方がカメラを設置して待っている。隣の方は朝から来ているとのこと。葦原をざわざわと風が渡っていく。イタチが現れる。小鳥が葦原に入っていく。あまりの速さに識別できない。太陽が沈みかける17時20分ごろ、コチョウゲンボウが目の前の枝先に止まる。葦原に入る、枝先に止まるを繰り返した後、葦原に入る。

ハイイロチュウヒの雌が現れ葦原を旋回、雄が現れ二羽で旋回。雌が一足早く葦原に入り、その後雄は旋回し、雌の近くの葦原に入る。鳥

たちが罫に入るとあっという間に暗くなる。目の前でコチョウゲンボウ・ハイイロチュウヒの雌雄・罫入りを観察することができ大満足である。

夕食はバイキング料理。11人テーブルを囲んでいろいろと話が弾む。

2月9日7時朝食。バイキング料理。しじみたっぷりの味噌汁。8時出発。防風林で見え隠れする鹿島灘を見ながら波崎へ。埠頭には沢山のカワウが黒い体で等間隔に並んでいる。

ウミアイサ(雌)を観察。銚子大橋を渡り千葉県へ。九十九里浜の飯岡の入江では一羽のコクガンがマガモなどに混ざり行動している。喉に白斑がありマガモより少し大きい。

次は香取郡東庄町夏目の堰(八丁堰)。長さ400m幅200mの池に物凄い数の水鳥がひしめき合っている。遠くから枯草にみえていた物は近づいてみると、枯草ではなくすべて水鳥である。コハクチョウの中にアメリカコハクチョウを探す。コハクチョウの周りにはトモエガモの群れ。ここは鳥獣保護区。鳥たちは安全な場所を知っているようである。

郡山19時着。安全運転有難うございます。担当の皆様、参加者の皆様お世話になりました。有難うございます。

8日42種、9日45種の鳥を確認。コウノトリ、コクガン、ハイイロチュウヒ、罫入りなど満足いっぱい探鳥会でした。



コチョウゲンボウ